

市立保育園改築に伴う提案

【現状】

建築年：S22 (S49一部増築)

敷地面積：2,237.94m²

構造：木造

階数：平屋

建物面積：473.04m²

耐震性：構造評点0.09(1.0)

定数：60人

CASE 1

与条件と概算コストを整理し、ケーススタディを行い提案

現位置にて改築した場合(概算)

【条件】 建物面積：800m²、RC造、2階
 想定工事費：800m² × 350千円 = 280,000千円
 想定仮設園舎：500m² × 50千円 = 25,000千円

【現位置近傍で土地交換する場合】

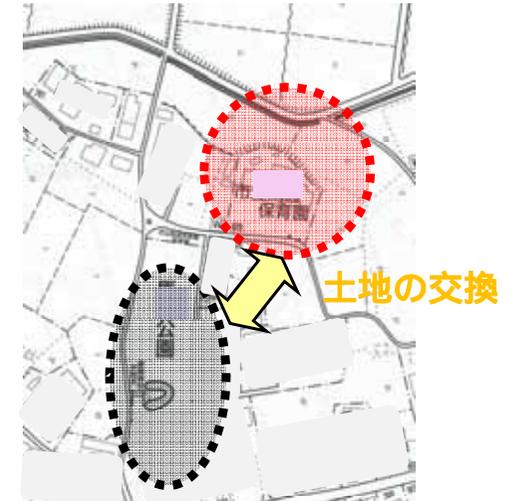
上記、仮設園舎を設置する必要がなくなる

利点

仮設園舎・休園が不要
 現在地と近隣
 地区の広域避難場所としての機能の確保

課題

公園機能が一時休止



CASE 2

【他の施設をリニューアルして使用する場合】 A小学校の余裕教室(759m²)を利用

【条件】 既存一部改修 + 一部増築(給食室・階段)
 想定工事費：(改修)759m² × 150千円 = 113,850千円
 (増築)100m² × 350千円 = 35,000千円
 (合計) 148,850千円

利点

仮設園舎・休園が不要
 交通上の利便性が向上
 建設コストの縮減

課題

所在地が変わる
 レイアウトに制約あり
 小学校との利用調整必要
 広域避難場所機能の不確保

CASE 3

【他の施設をリニューアルして使用する場合】 B小学校の余裕教室(1,308m²)を利用

【条件】 既存まるごと改修(耐震補強工事含む)
 想定工事費：1,308m² × 150千円 = 196,200千円

利点

仮設園舎・休園が不要
 交通上の利便性が向上
 建設コストの縮減
 独立棟のため利用調整が容易

課題

所在地が変わる
 レイアウトに制約あり
 広域避難場所機能の不確保